

原子力機構 燃料研究棟汚染事故に係る対応（日報）

○7月3日（月）掲載

6月30日（金） の実績	内 容
現場復旧対応	<p>○108号室の安全確保のための措置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フード内の貯蔵容器を移動するための作業計画書を作成中です。</li> </ul> <p>○現場の除染</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛散したものを除去するための作業内容等を検討中です。</li> </ul>
原因究明対応	<p>○内容物の同定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貯蔵容器80個分の帳票類の履歴調査を継続中です。</li> </ul> <p>○破裂メカニズム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹脂製の袋にガスを注入したものが金属缶中で破裂する事象を模擬した実験を継続中です（非管理区域）。</li> <li>・放射線（アルファ線）を照射した樹脂が分解する事象を調べる試験を行い、重量測定及び密閉状態での内圧測定を継続中です。分解による重量減少と、ガス発生による内圧上昇を確認しました。</li> <li>・樹脂へのヘリウム照射、ガンマ線照射試験の準備中です。</li> <li>・破裂が生じた要因を図式化したフォルトツリー解析図を構築し、本日（7/3）、文科省特命チーム会合にて報告する予定です。</li> </ul>
その他 （総点検・水平展開、 被ばく評価対応など）	<p>○核燃料物質の貯蔵等に係る総点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各拠点における総点検（貯蔵中の核燃料物質の管理状況、貯蔵容器等の取扱い作業に関する管理状況の確認等）を実施中です（6/15～）。</li> </ul> <p>○被ばく評価（バイオアッセイ協力、外部被ばく評価）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオアッセイ試料（便）の分析作業、外部被ばく線量の評価を継続中です。</li> </ul> <p>○外部対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原子力規制庁と定例面談を行いました。</li> <li>・原子力規制庁による燃研棟立入検査がありました。</li> </ul>

	<p>○作業員の除染の際に、シャワーが不調となり、隣接建屋からホースを用いて給水したことが判明しました。シャワー室での除染作業については、事故対策本部において詳しい調査を行っておらず、担当部長も原因究明等への対応に忙殺され、本部への報告を失念していました。</p> <p>事故後の作業員の除染作業の概要については、本日(7/3)、文科省特命チーム会合に報告する予定です。</p>
--	---